

第7回
WMC
セミナー

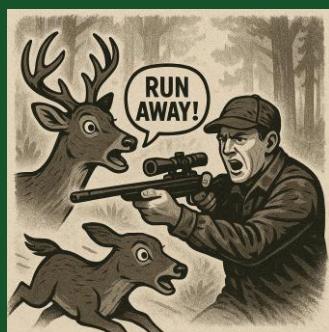
2025年11月19日(水)
府中キャンパス1号館11教室
14:45～16:15

Zoom同時配信 ミーティングID: 899 3246 3869 パスコード: 816167
<https://tuat-jp.zoom.us/j/89932463869?pwd=VJ9OA0oSkeVibPs7ykCESCjDMWnFMh.1>

富士山におけるニホンジカの行動生態 ～人為的攢乱が形成する恐怖の景観と空間利用の性差～

報告者：中村 圭太（山梨富士山科学研究所）

近年、一部のシカ科動物において個体数の急増・高密度化が進行しており、捕獲による個体数調整が各国で積極的に推進されている。一夫多妻制をとるシカ類では、個体数抑制においてメスの捕獲が特に重要とされるが、性別ごとの行動特性や空間利用に関する実証的知見は依然として限られており、効果的な選択的捕獲の実現には課題が残る。特に、性的二型の発達したシカ類では、繁殖戦略の違いからオスは餌資源を、メスは安全性を優先する傾向が知られているが、人為的攢乱がこうした性差に与える影響については十分に明らかにされていない。



人為的攢乱



生息地利用の性差

本セミナーでは、富士山北麓において実施した、人為的捕獲圧や森林伐採がニホンジカの生息地利用の性差に与え影響に関する研究を中心に紹介する。「恐怖の景観（Landscape of Fear）」の形成とその性差に関する行動生態学的知見を踏まえつつ、効率的かつ持続可能な個体数管理のあり方について検討する。

世話人・問い合わせ先

諸澤崇裕（魚類・野生動物生態学研究室）tmorosawa@go.tuat.ac.jp

高田隼人（野生動物行動生態学研究室）takahad@go.tuat.ac.jp

小林勇太（森林資源管理学研究室）kobayashiyuta@go.tuat.ac.jp

渡辺将央（生産環境システム学研究室）masahisa-watanabe@go.tuat.ac.jp

平原 俊（森林経営学研究室）hirahara@go.tuat.ac.jp

